

2012 研修分科会

私立大学図書館協会 東地区研究部



早稲田大学中央図書館
ホームページより

IAAL
JASPUL

第4回

日時

2012年9月20日 (木)
13:00-17:00

会場

早稲田大学中央図書館

中央図書館 会議室

(1階の館員入口から入ります。2階の利用者入口ではありませんのでご注意ください。入口で名札を提示してください。)

集合

13時は開始時間です。欠席の場合は事前にメーリングリストにご連絡ください。当日急に来られなくなった場合や遅刻する時は、下記の大学図書館支援機構事務局携帯電話に必ず連絡をお願いします。

メーリングリスト

2012kenshu@googlegroups.com
(このML宛のメールが配信されるメンバーは、研修分科会会員、幹事校、IAAL事務局です。) 皆さんへのお知らせはこのメールにお送りください。

IAAL事務局連絡先

170-0004豊島区北大塚1-19-12
TEL: 03-5961-3401
FAX: 03-5944-5087
E-mail: info@iaal.jp
IAAL緊急連絡先 (携帯番号)
090-9100-0387

会場案内

アクセス・交通

- J R 山手線 高田馬場駅から徒歩20分
- 西武 新宿線 高田馬場駅から徒歩20分
- 地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩5分
- 副都心線 西早稲田駅から徒歩17分
- 学バス 高田馬場駅 - 早大正門
- バス 新宿駅西口 - 早稲田, 渋谷駅 - 早大正門, 上野広小路 - 早稲田
- 都電 荒川線 早稲田駅から徒歩5分

★学バスが便利です。図書館へは終点まで行かず、西早稲田下車



テーマ 企画力

講演：企画力

岡本 真氏

(アカデミックリソースガイド)

図書館は大学の中で何をしているか分からないと、他の部署から言われることはありませんか。利用者に、また大学当局に、図書館の機能を見えるようにするにはどうしたらよいでしょう。

これまでの研修分科会の講演や見学を通して、機関リポジトリ、危機管理、新たな大学図書館の機能について等を考えてきました。また、電子化が進む状況下で、図書館の役割はより多様化していくものと思われま。それらを実行に移すための「企画力」を今回の講演テーマにしました。

サービスの企画を考える際に必要なことは何かを、ラーニングコモンズやFacebook等を例に、岡本真さんにお話しいただきます。岡本さんはYahoo!知恵袋を企画されたことでも有名で、ご存知の方も多と思います。図書館のサービスも、蔵書を構築し提供することから、人に対するサービスに視点に移りつつあります。そのサービスのビジョンやミッションを捉え直すところから始めなければなりません。

ワークショップ

ご講演とあわせて、ワークショップを行ないます。実際に自分で考えることを通して、企画力を身につけていきましょう。

皆さんが岡本ワールドをたっぷり楽しんでいただくことによって、これからの大学図書館が活気あるものになっていくことと思います。

夏季見学ツアー

写真上映会・報告会

見学ツアーに参加されて、どのような感想をもたれたでしょうか？バスでは高野ばかり話してしまいましたので、皆さんがどう受け止めたかディスカッションしてみましょう。（見学先から感想を聞きたいと言われています。）

また、IAALで撮った写真の上映会をして、不参加5名の方にもご覧いただければと思います。



2012年度第2回 小陳氏講演の様子

Time table

時間	内容
13:00-13:05	事務連絡
13:05-14:45	岡本真氏講演：企画力
14:45-15:00	ティーブレイク
15:00-16:00	ワークショップ/発表
16:00-16:50	見学ツアー写真上映会・報告会
16:50-17:00	次回予定について

第4回 課題

研修分科会中間レポート

第3回までの研修分科会を通して学んだことを、レポートにまとめ、各自が所属する図書館に報告していただきます。

書式はWordもしくはPower Pointで、分量は問いません。貴重な業務時間に出張していますので、それなりの成果を形として示すこと、また研修分科会に出席できなかった職場の方にも学んだ内容を共有していただくことを目的としたレポートです。

研修分科会への提出はメーリングリストにお送りください。同じものを所属図書館にも提出してください。

提出期限：9月18日（火）連休明け
★集計は致しませんが、できるだけコメントをつけてお戻しするように致します。（所属図書館への提出はその後でも構いません。）



第5回は...

テーマ：JUSTICE

（サンデル教授の正義ではありません。「大学図書館コンソーシアム連合」の通称です。）電子ジャーナルの提供に関する連携事業を通して、大学図書館同士が協力体制を組んでいくことの重要性を考えてみたいと思っています。

こちら、11/8乞うご期待！

持ち物

- 開催案内
- 講演レジュメ（開催日の1週間前頃にMLで配布しますので、各自で印刷し、持参してください。）
- 名札もお忘れなく！